

平成26年行政事業レビュー・公開プロセス 主な論点

第1セッション 旅券関連業務

国民の利便性と日本国旅券の国際的信頼性の向上を図りつつ、旅券発給体制の効率性をより高めるため、以下の事項についての効果的・効率的な方策はないのか。

- (1) 国内の旅券発給業務において、国内の旅券作成機の配備体制等を見直し、旅券発給体制の効率性をより高めるための方策はないのか。また、海外在留邦人に対する旅券発給業務において、在外公館の一部(224公館中151公館)のみに旅券作成機を配備することは、費用に見合った十分に効果的なものと言えるか。効果をより高めるための方策はないのか。
- (2) 旅券冊子の発注数、在庫管理について、より効率的な管理方法はないのか。

第2セッション 日・インドネシア経済連携に基づく外国人看護師・介護福祉士候補者に対する日本語研修事業

- (1) 研修事業委託先の選定プロセスは、競争性と透明性が確保され、公平な技術審査と入札手続きが行われているか。これまで以上に多くの入札を促す方策はないのか。
- (2) 研修の結果、候補者は受入れ病院・施設での就労・研修に必要な日本語能力を十分に身につけているのか。研修効果をより高めるための方策はないのか。
- (3) 事業が委託内容に沿っているかの検証等のフォローアップは適切に行われているか。フォローアップされた事項は、翌年度の事業を実施する上で活用されているか。

第3セッション 独立行政法人国際協力機構運営費交付金(技術協力)

- (1) 技術協力に関する過去の指摘事項のフォローアップ状況を確認し、草の根技術協力事業について、開始から10年以上が経過しているが、日本のNGO等の協力活動の促進、助長により、途上国の開発への貢献や担い手の拡充といった成果は出ているか。また、これら成果を更に高める方策はないのか。
- (2) 草の根技術協力事業について、途上国の開発への貢献のみならず、かかる活動経験を日本に還元し地域活性化にも貢献するための方策はないのか。